

ジェームズ・ボンドは大学生のハートを盗んだか？
-カーチェイス・シーンにおけるHR-

関西国際大学 中山 誠



動画もしくは静止画に対する生理反応

- IAPSによる不快な刺激は最初のHR 減速をもたらす (Greenwald et al., 1989)、不快な内容は初期の定位反応と注意の増大を促進すると示唆。
- 喜劇系ビデオではコルチゾール減少、悲劇系ビデオではコルチゾール増加 (山田、2011)
- テレビ番組と瞬き 興味 の程度と瞬きの頻度に負の相関 (Tada, 1986)

目 的

- ストーリー性が比較的低い、短時間のビデオクリップ（3分間）を呈示し、画面に対する注目効果と、ビデオによって喚起される感情の面から、生理反応を指標として検討

方 法

- 実験参加者：健康な男女学生18名（18～68歳、平均年齢22.8）
- 指標：HR,SCL,呼吸時間
一般感情尺度によるビデオの主観的評定
- 刺激： 風景（Beautiful Scenery Japan 日本の風景それでも美しい、2011）
カーチェイス（007 ゴールデンアイ、1995）。
ホラー（学校裏サイトホラーゲーム、2011）
子供と動物（ロック～わんこの島～、2011）
- 手続き：3分間に編集した4種類のビデオを、すべての実験参加者に順序を変えて呈示

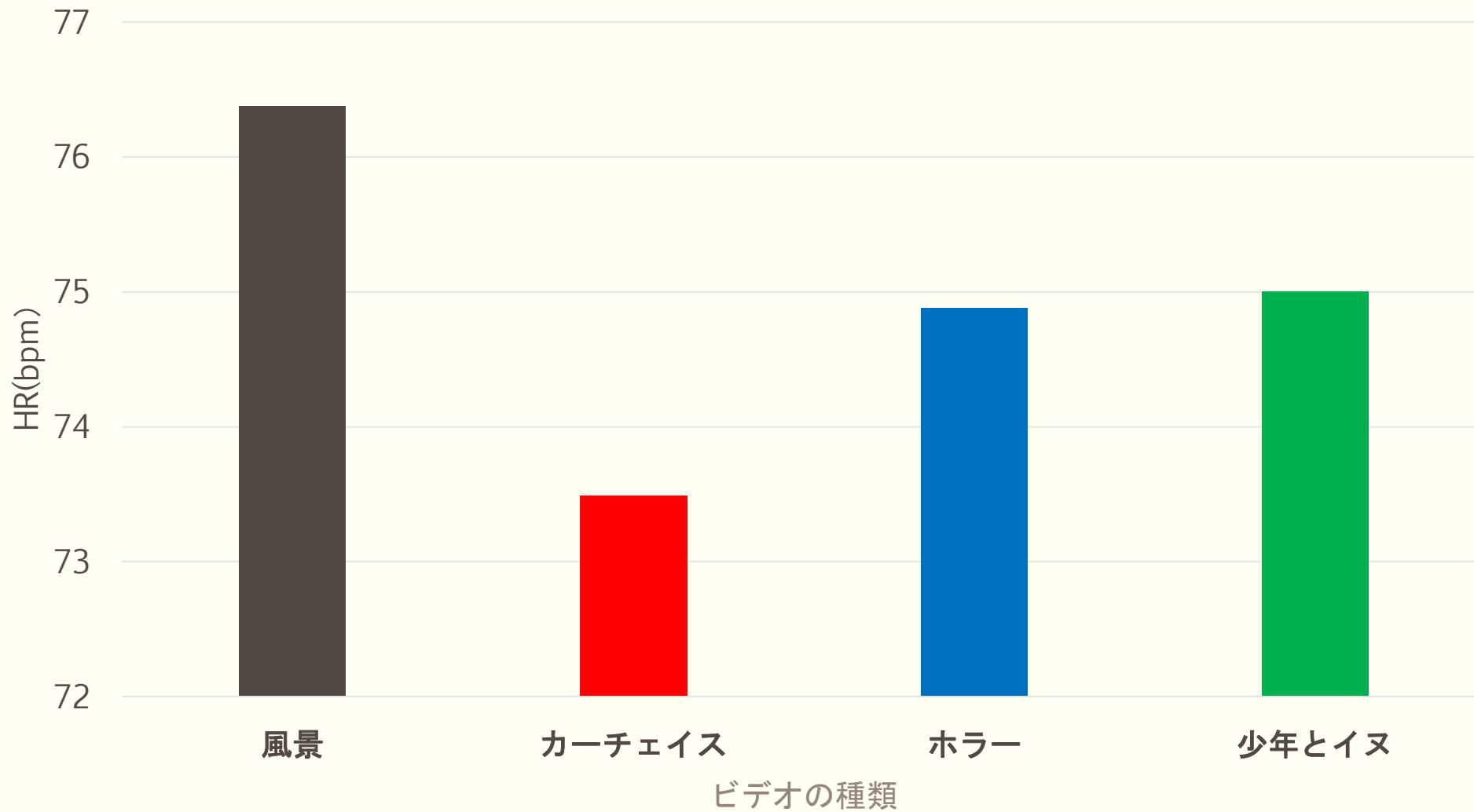


Fig.1 HRの結果
一元配置の分散分析 video内容の主効果有意
下位検定で 風景とカーチェイスの差のみ有意

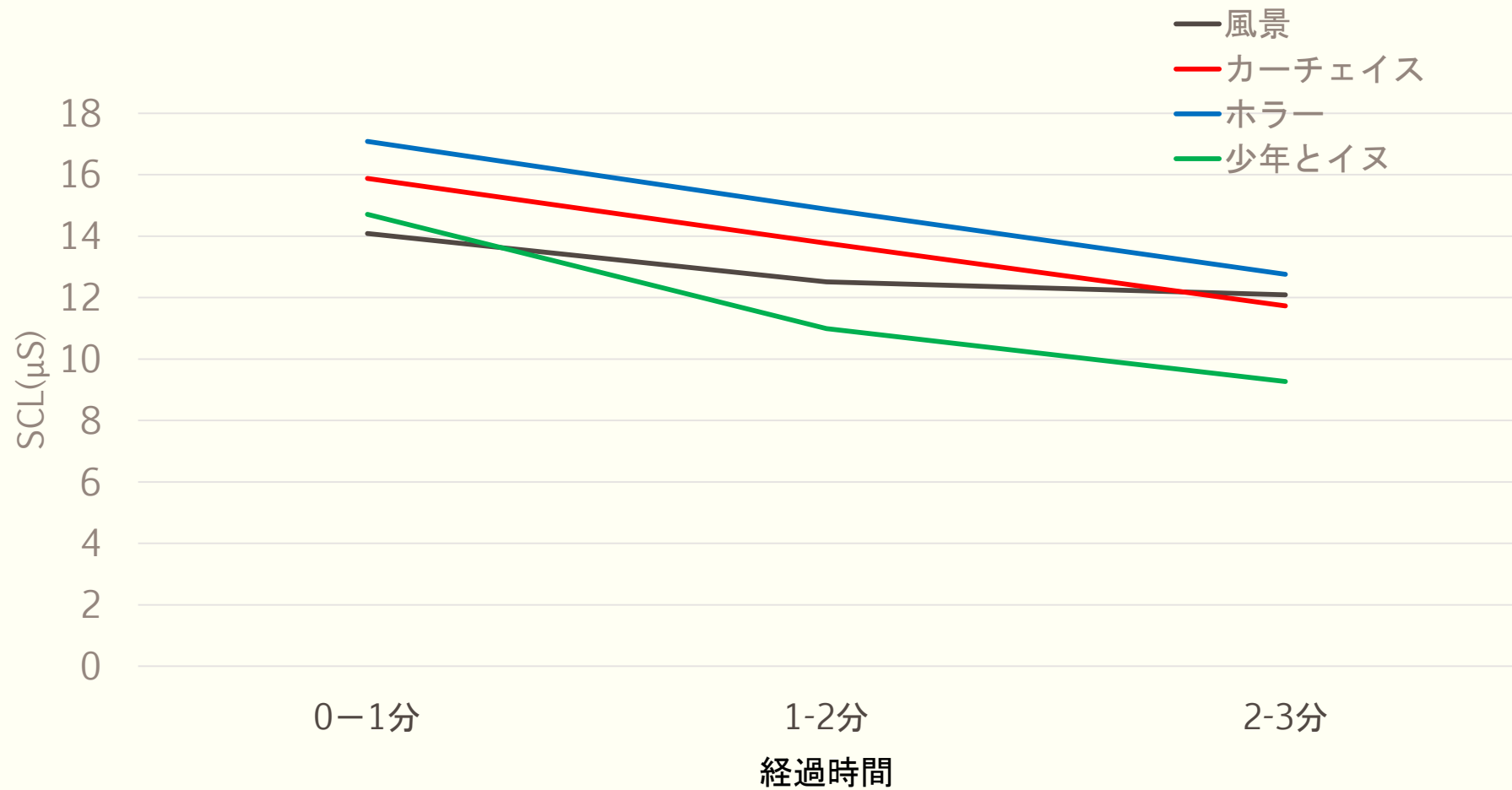


Fig.2 SCLの結果
videoの種類と時間経過の2要因分散分析 時間の主効果のみ有意

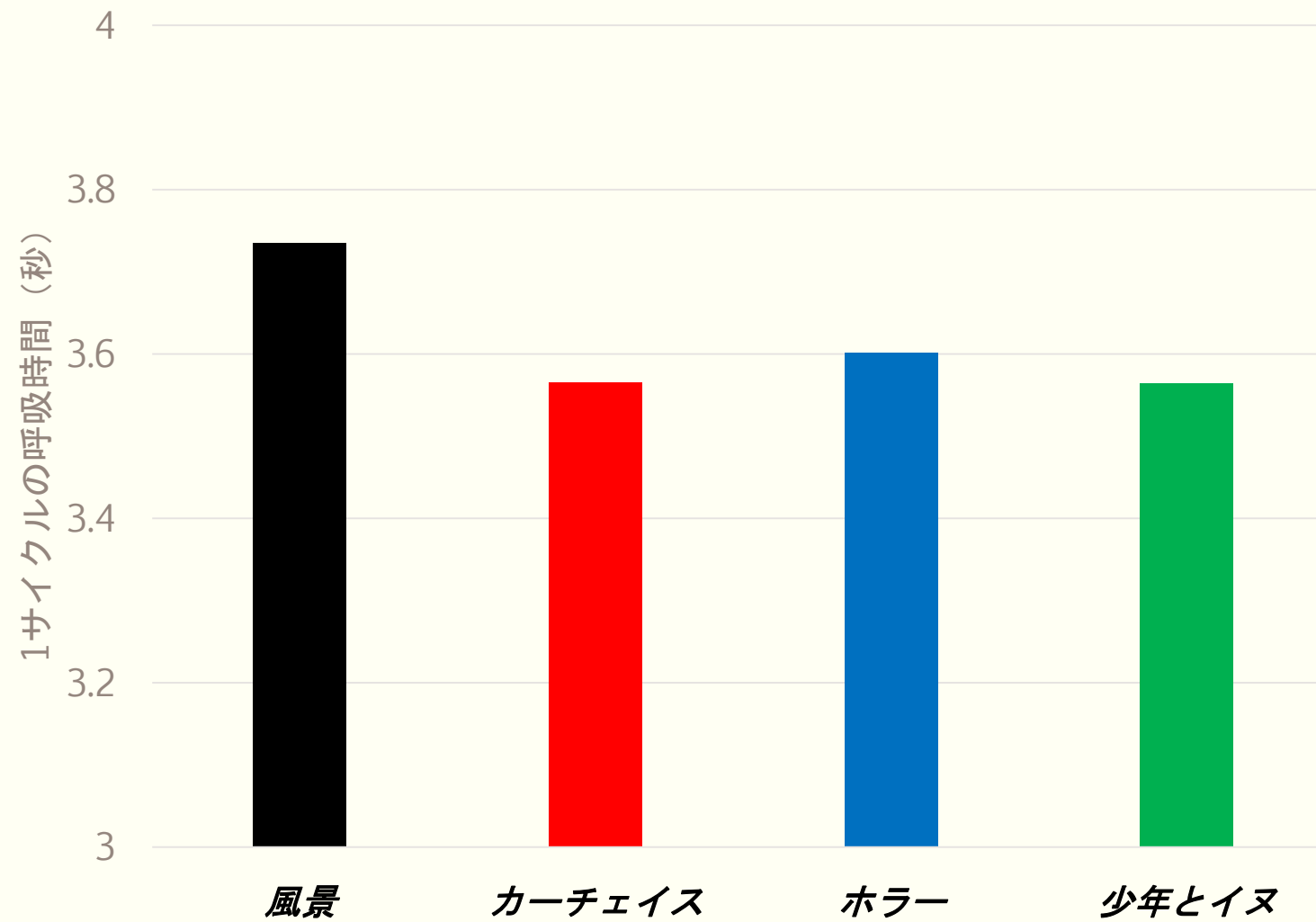


Fig.3 呼吸時間の結果
一元配置の分散分析 主効果 n.s.

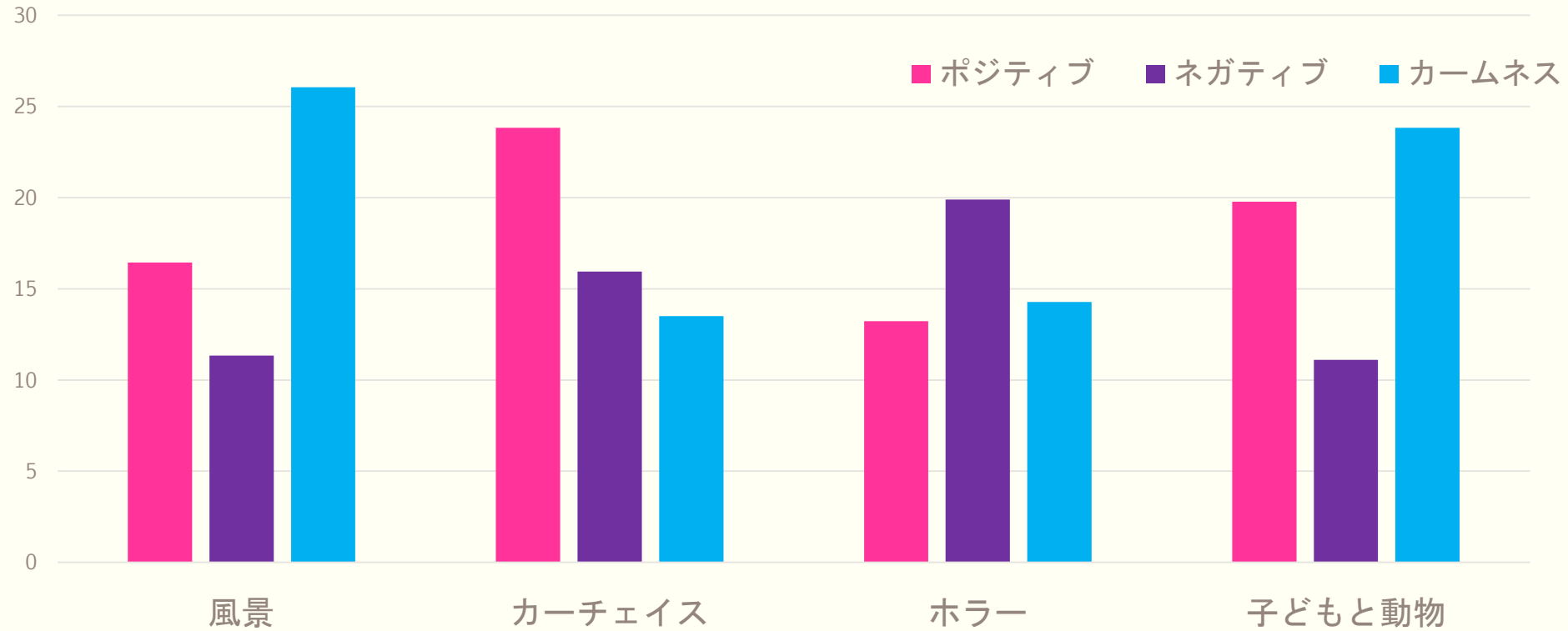


Fig.4 主観的評定

ポジティブ感情はカーチェイスで最高、ホラーが最低（いずれも差は有意）
ネガティブ感情はホラーで最高、で子供と動物・風景が低い（同）
カームネスは風景・子供と動物で高く、カーチェイスが低い（同）

考 察

- 1 カーチェイス：HRは風景（コントロール）に比べ、有意に減速→画面に対する注目効果が最大
HR減速はポジティブ感情の増大と関連
- 2 特にストーリーの展開のない風景に比べ、それ以外のビデオで呼吸は促進されるが、感情価の影響は反映されない
- 3 ホラーはネガティブ評価はされたものの、画面注目効果もHR変化も不十分で、刺激選択をかえて再検討する余地あり